



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社タカチホ
コード番号 8225 URL <https://kk-takachiho.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺島 千博 TEL 026-221-6677
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,034	6.7	131	1.3	131	1.6	109	△29.6
2023年3月期第1四半期	1,906	63.9	129	—	129	—	155	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 110百万円 (△29.7%) 2023年3月期第1四半期 157百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	172.26	—
2023年3月期第1四半期	244.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	4,576	1,484	32.4	2,334.16
2023年3月期	4,166	1,374	33.0	2,160.16

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,484百万円 2023年3月期 1,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	3.6	337	2.4	330	0.7	230	△50.0	361.56

（注）1.直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	727,500株	2023年3月期	727,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	91,429株	2023年3月期	91,370株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	636,096株	2023年3月期1Q	636,132株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、個人消費の回復とともに景気も緩やかに回復に向かう動きが継続しました。

国内においては、コロナ禍による行動制限がなくなり外出機会が増加したことに加え、海外からの入国制限が解除され外国人旅行者も増加傾向にあります。しかしながら資源価格の上昇による原材料価格の高騰、物価上昇やコロナ禍での消費行動・価値観の変化等、先行きが不透明な状況も続いております。

このような経済情勢のなかで当社グループといたしましては、市場や顧客ニーズの変化を的確に把握し、機会を捉えた商品供給による販売強化と業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,034百万円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益は131百万円（前年同四半期比1.3%増）、経常利益は131百万円（前年同四半期比1.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は109百万円（前年同四半期比29.6%減）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、外出機会が増加したことから観光地の人出回復とともに受注も増加し、売上高は1,562百万円（前年同四半期比24.5%増）となり、営業利益は165百万円（前年同四半期比91.7%増）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、外出機会が増加したものの前年に開催された長野市における善光寺御開帳効果が剥落し、売上高は200百万円（前年同四半期比31.0%減）となり、営業利益は7百万円（前年同四半期比85.4%減）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、外出機会が増加したことから観光地の人出回復とともに受注も増加し、売上高は33百万円（前年同四半期比16.2%増）となり、営業利益は5百万円（前年同四半期比1,640.1%増）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、前年度に価格改定を行いました。資源価格の上昇による運営費増加が上回り、売上高は67百万円（前年同四半期比4.5%増）となりましたが、営業利益は5百万円（前年同四半期比32.9%減）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。このうち自社運営していた飲食店舗を賃貸に変更したこと等により、賃料収入は36百万円（前年同四半期比16.0%増）となり、営業利益は13百万円（前年同四半期比20.4%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、コロナ禍を背景として増加したアウトドアユーザーの需要に一巡の兆しが見え始めたほか、競合店の進出等の影響により、売上高は122百万円（前年同四半期比22.2%減）となり、営業利益は2百万円（前年同四半期比84.3%減）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、ギフト店、飲食店の運営が含まれます。保険代理店及びギフト店等のノンコア事業の見直しを進めた結果、売上高は12百万円（前年同四半期比84.8%減）となり、営業損益は0百万円の営業損失（前年同四半期は14百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,428百万円となり、前連結会計年度末に比べ401百万円(19.8%)増加いたしました。これは主に現金及び預金が137百万円、受取手形及び売掛金が130百万円、商品及び製品が132百万円、それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,147百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円(0.4%)増加いたしました。これは主に繰延税金資産等により投資その他の資産のその他が5百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,576百万円となり、前連結会計年度末に比べ409百万円(9.8%)増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,539百万円となり、前連結会計年度末に比べ382百万円(33.1%)増加いたしました。これは主に短期借入金が380百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,551百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円(5.1%)減少いたしました。これは主に長期借入金が82百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,091百万円となり、前連結会計年度末に比べ298百万円(10.7%)増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円(8.0%)増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益109百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は32.44%(前連結会計年度末は32.98%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日開示の2023年3月期決算発表時と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	913,524	1,051,320
受取手形及び売掛金	651,018	781,763
商品及び製品	391,593	524,058
原材料及び貯蔵品	41,100	40,957
その他	30,442	31,419
貸倒引当金	△1,056	△1,163
流動資産合計	2,026,622	2,428,355
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	575,441	584,386
土地	902,820	902,820
その他（純額）	108,207	103,539
有形固定資産合計	1,586,469	1,590,745
無形固定資産	112,131	110,251
投資その他の資産		
敷金及び保証金	116,349	116,239
その他	336,658	341,973
貸倒引当金	△11,518	△11,521
投資その他の資産合計	441,488	446,691
固定資産合計	2,140,090	2,147,688
資産合計	4,166,713	4,576,044
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	405,370	458,746
短期借入金	356,397	737,126
未払法人税等	78,896	28,475
賞与引当金	45,963	67,906
契約負債	13,632	13,521
その他	256,530	233,971
流動負債合計	1,156,790	1,539,747
固定負債		
長期借入金	1,312,505	1,230,465
資産除去債務	94,807	95,146
その他	228,470	225,995
固定負債合計	1,635,782	1,551,606
負債合計	2,792,573	3,091,354

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	701,711	701,711
利益剰余金	△152,711	△43,136
自己株式	△179,140	△179,257
株主資本合計	1,369,858	1,479,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,281	5,372
その他の包括利益累計額合計	4,281	5,372
純資産合計	1,374,140	1,484,690
負債純資産合計	4,166,713	4,576,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,906,830	2,034,772
売上原価	1,333,104	1,466,135
売上総利益	573,725	568,636
販売費及び一般管理費	443,779	436,961
営業利益	129,945	131,674
営業外収益		
受取利息	2	15
受取配当金	321	325
受取事務手数料	322	310
受取手数料	1,578	1,335
その他	440	836
営業外収益合計	2,666	2,823
営業外費用		
支払利息	2,604	2,445
その他	668	642
営業外費用合計	3,272	3,087
経常利益	129,339	131,411
特別利益		
助成金収入	15,826	—
特別利益合計	15,826	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	145,165	131,411
法人税、住民税及び事業税	25,470	25,271
法人税等調整額	△35,862	△3,435
法人税等合計	△10,392	21,835
四半期純利益	155,558	109,575
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,558	109,575

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	155,558	109,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,957	1,091
その他の包括利益合計	1,957	1,091
四半期包括利益	157,516	110,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,516	110,666
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴 施設事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約 から生じる収益	1,254,607	290,164	29,080	64,495	—	157,595	1,795,944	79,369	1,875,314	—	1,875,314
その他の収益	—	—	—	—	31,516	—	31,516	—	31,516	—	31,516
外部顧客への 売上高	1,254,607	290,164	29,080	64,495	31,516	157,595	1,827,460	79,369	1,906,830	—	1,906,830
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	28,055	—	61,574	—	7,500	—	97,130	47,362	144,492	△144,492	—
計	1,282,662	290,164	90,655	64,495	39,016	157,595	1,924,591	126,731	2,051,323	△144,492	1,906,830
セグメント利益	86,391	51,977	313	7,568	11,144	18,771	176,167	14,728	190,895	△60,949	129,945

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴 施設事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約 から生じる収益	1,562,170	200,125	33,780	67,408	—	122,636	1,986,120	12,089	1,998,210	—	1,998,210
その他の収益	—	—	—	—	36,562	—	36,562	—	36,562	—	36,562
外部顧客への 売上高	1,562,170	200,125	33,780	67,408	36,562	122,636	2,022,682	12,089	2,034,772	—	2,034,772
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17,221	—	60,645	—	7,200	—	85,067	39,883	124,951	△124,951	—
計	1,579,392	200,125	94,426	67,408	43,762	122,636	2,107,750	51,972	2,159,723	△124,951	2,034,772
セグメント利益 又は損失 (△)	165,576	7,578	5,456	5,079	13,421	2,944	200,056	△948	199,108	△67,433	131,674

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。